ノンフィクション
ご担当者様

９月 12 日刊行　新 刊 の ご 案 内

生きるも地獄、死ぬるも地獄、それでも生きる
ーアスベスト遺族の物語ー

いつも大変お世話になっております。アスベスト遺族の在宅看取りの記録が誕生いたしました。
ご発注をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

【概 要】

夫を死に至らせたのは、仕事がもたらした病、悪性胸膜中皮腫だった。配管工として六十年近く現場一筋だった夫は、長い年月のなかで**アスベスト（石綿）**を吸い続けていた。病名がわかったとき、治療はもう難しいと告げられる。

著者は、夫の「病院はいやや」という言葉を聞き、心を決めた。**住み慣れた家で、家族とともに最期の時間を過ごす**。そこから、一年六か月の日々が始まった。

涙ばかりの日々ではなかった。手をにぎり、笑い、孫の声に救われる瞬間が、たしかにあった。最期の日、夫は子どもと孫たちに囲まれて息を引きとった。病院では叶えられなかった、自分らしい時間だった。

原爆投下の翌日、広島の町に救援に入った祖父が繰り返していた言葉がある。**「和美、生きるも地獄、死ぬるも地獄や」**

――それでも、生きる。

本書は、**アスベスト被害の現実、労災認定までの道のり、家族で見送る時間の尊さ**を、介護日記を軸に綴った記録です。

いま誰かを看ている人、大切な人をどこで見送るか迷っている人に、ひとつの家族の答えを届けます。

【定価】1600 円（税別）【仕様】四六判・並製　224 ページ

【目次】はじめに ／ 第一章　アスベストという時限爆弾 ／ 第二章　出会いから支えあう人へ ／ 第三章　百年前からの警告 ／ 第四章　介護日記が始まる日 ／第五章　十月十八日、二時四十三分 ／ 第六章 「和美、安心せえ」／ おわりに

■ 著者

沖 和美（おき かずみ） 1950 年兵庫県生まれ。宝塚市在住。事務職で 23 年。会社倒産のため、60 歳から介護職に就き、途中介護福祉士資格をとる。夫がアスベストによる悪性胸膜中皮腫を患い、家族とともに自宅で看取った。その経験を通して、アスベスト被害の現実と在宅看取りについて、広く訴えたいと願っている。

申込書	貴店名・帳合	部	生きるも地獄、死ぬるも地獄　それでも生きる アスベスト遺族の物語 沖 和美 著 定価　1600 円（税別） ISBN 978-4-910233-32-1　C0095

発行・発売　株式会社めでぃあ森
102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-6 りそな九段ビル5F　TEL　03-6869-3426

ご注文は JRC へ　FAX 03-3294-2177

JRC 経由で全ての取次店への出荷が可能です。
注文扱いでも返本フリーです。
TEL 03-5283-2230